

長野県諏訪郡原村との「森林(もり)の里親」契約の締結について

1. 当社(本社:東京都港区虎ノ門二丁目、社長:高萩光紀)は、CSR活動強化の一環として、このたび、長野県が推進する「森林の里親促進事業」の趣旨に賛同し、同県諏訪郡原村(村長:清水 澄)との間で「森林の里親」契約を締結することといたしました。これにより、当社は本年4月から原村の森林の里親となり、森林整備を支援してまいります。
2. 長野県では、森林の健全な育成を図るため、2003年から「森林の里親促進事業」を実施しています。これは、長野県の仲介により、環境保全活動に取り組む企業と森林を保有する市町村が連携して森林整備に取り組むものです。企業は、森林の里親として、二酸化炭素の吸収源となる森林整備のための資金を提供するほか、社員のボランティア等により整備活動も行うこととなります。
3. 当社は、本年4月から5年間にわたり年額50万円を原村に寄付します。原村では、寄付金を活用しながら、原村内の森林の整備を実施します。さらに当社は、社員ボランティアを募り、地域住民と協働で間伐作業等にも積極的に参加してまいります。里親の森林には「原村・JOMO あゆみの森」と記した看板が立てられ、当社は、地域の文化・産業に触れる場、地域住民との交流の場として森林を活用することとしています。
4. なお、これを機に、森林の大切さや農山村の生活の知恵について当社社員の理解を深めるため、次のとおり記念行事を開催いたします。

(1)タイトル:「森林づくりの集い」～未来に残そう「原村・JOMO あゆみの森」～

(2)主催:当社、原村

(3)後援:長野県、諏訪林業振興会

(4)日時:2005年5月28日(土)～5月29日(日)

(5)場所:長野県諏訪郡原村字原山17217およびその周辺

(6)内容:

(1)第1日目(5月28日)

- 森林の里親調印式典(長野県産カラマツ材製の記念プレートの交換)
- 森林の里親記念植樹祭(モミ300本、ミズナラ300本の記念植樹)
- 地域住民との交流会(旬の郷土料理を囲んでの懇親会)

(2)第2日目(5月29日)

- 地域住民との交流会(田舎暮らしを楽しむ体験活動)

(7)参加対象:参加を希望する当社社員、地域住民、地元の林業関係者など

以上